

平成26年度 帯広市・国立大学法人帯広畜産大学

【フードバレーとかち人材育成事業】

受講生募集要項

アグリ・フードビジネスコース 入門編

帯広市と帯広畜産大学は、平成19年度より5年間実施した「十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業」で培った実績を踏まえ、平成24年度より「フードバレーとかち人材育成事業」を実施しております。

この事業は、食・農畜産業分野での新製品開発や販路拡大などについての実践的な講義や実習を行い、地域の経済発展に寄与しリーダーシップを発揮する人材の育成を目的としております。

本コースでは、アグリ・フードビジネスに関する生産から加工までの必要な基礎知識の習得を目指して、以下のような内容で実施します。

1. 募集人員

10名程度

2. 研修内容

十勝でビジネスを行う上で必要となる、十勝の農業・畜産および農産物加工についての知識や地場産食品の魅力について理解を深めるとともに、コミュニケーションスキル等の習得を目指す。

3. 応募資格： 次の両方に該当する方

- (1) 農畜産業・食品加工・バイオマス関連・流通等のアグリ・フードビジネスに関連する方
- (2) 所属長等の推薦を得られる方

4. 受講料： 20,000円

応用編も受講される場合は、応用編の受講料30,000円から10,000円割引されます。応用編の募集が開始（5月上旬）されてから提出してください。

さらに、帯広市内在住又は帯広市内の事業所に勤務する方は受講料が半額となります。

*支払方法については、選考結果通知の際にお知らせします。

	入門編	応用編	入門編・応用編
帯広市内在住 又は市内勤務	10,000円	15,000円	20,000円
帯広市外在住 又は市外企業	20,000円	30,000円	40,000円

5. 受講期間： 平成26年5月27日（火）～6月10日（火）

スケジュール詳細は別紙1のとおりです。

6. 応募書類： 応募に必要な書類は以下のとおりです。

- (1) 様式1「志願書」
- (2) 様式2「履歴書」
- (3) 様式3「志望動機」
- (4) 様式4「推薦書」

※ 提出された応募書類は、返還しませんので、ご了承ください。

様式は、フードバレーとかち人材育成事業事務局（「9. 請求・提出・問い合わせ先」に記載）にご連絡いただくか、本事業のホームページから取得し、紙又は電子媒体で提出してください。

7. 募集期間： 平成26年4月21日（月）～5月16日（金）12：00必着

○ 応募書類は封筒に入れ、「アグリ・フードビジネスコース」と朱書し、帯広畜産大学地域連携推進センター内フードバレーとかち人材育成事業事務局に持参又は郵送してください。

○ 電子媒体は、フードバレーとかち人材育成事業事務局にメール添付で提出してください。

8. 選考方法： 応募書類にて審査を行います。

9. 応募書類の請求・提出・問い合わせ先：

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地
国立大学法人帯広畜産大学
地域連携推進センター内
フードバレーとかち人材育成事業事務局（担当：若木・寺崎）
TEL：0155-49-5773 FAX：0155-49-5775
E-mail：f-jinzai@obihiro.ac.jp

※ご参考：本事業の詳細は下記のホームページにてご覧いただけます。
(<http://www.obihiro.ac.jp/~crcenter/f-jinzai/index.html>)

10. 選考結果： 5月20日（火）に、書面（郵送）及び電話でお知らせします。

11. 受講場所： 帯広畜産大学他

12. 講義内容： 別紙1および別紙2のとおりです。

13. 修了認定： 講義を8割以上出席し、小テスト等の評価により合格した方、または講師が合格に相当すると判断した方には修了証書をお渡しします。

◎ 個人情報の取扱いについて

- (1) 帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 志願時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講者選抜、受講可否の連絡等の業務を行うためにのみ利用します。

別紙1

スケジュール詳細

1. 講義科目

	科目名 (講義時間)	講師
1	十勝のフードシステム (3時間)	帯広畜産大学 教授 仙北谷康
2	十勝の農業 (3時間)	帯広畜産大学 教授 三浦秀穂
3	十勝の畜産 (3時間)	帯広畜産大学 教授 日高智
4	十勝の農産物加工 (3時間)	帯広畜産大学 准教授 小嶋道之
5	食品安全の最新情報 (3時間)	帯広畜産大学 特任教授 渡辺信吾
6	ディスカッションリーダー (6時間)	インサイトマネジメント株式会社 代表取締役 坪井真一
7	百貨店バイヤーから見た北海道の食品 (3時間)	株式会社高島屋 食料品催バイヤー北海道展担当 新井将士
8	デザイン (3時間)	株式会社ファームステッド アートディレクター 阿部岳 プロデューサー 長岡淳一
9	対人関係論 (3時間)	帯広畜産大学 教授 渡邊芳之
10	フードバレーとかちの取組み (1.5時間)	帯広市産業連携室 主幹 吉田誠

2. 開講式及びオリエンテーション

5/27 (火)	13:00~ 13:30	受付
	13:30~ 13:45	開講式
	13:45~14:00	オリエンテーション

3. 講義実施予定日

月	日	曜日		
5	27	火		14:00~17:00 十勝のフードシステム (仙北谷)
	28	水		13:30~16:30 十勝の農業 (三浦)
	29	木	9:30~12:30 十勝の畜産 (日高)	13:30~16:30 デザイン (阿部・長岡)
	30	金	9:30~12:30 ディスカッションリーダー (坪井)	13:30~16:30 ディスカッションリーダー (坪井)
6	5	木		13:30~16:30 十勝の農産物加工 (小嶋)
	6	金	9:30~12:30 食品安全の最新情報 (渡辺信吾)	13:30~16:30 百貨店バイヤーから見た北海道の食品 (新井)
	10	火	10:30~12:00 フードバレーとかちの取組み (吉田)	13:30~16:30 対人関係論 (渡邊芳之)

修了式は、応用編と合同で8月に実施します。

別紙2

フードバレーとかち人材育成事業

○アグリ・フードビジネスコース 入門編 講義内容（シラバス）

①十勝のフードシステム

科目名	十勝のフードシステム
講師名	帯広畜産大学 教授 仙北谷 康
講義目標	フードシステムの視点の理解 十勝のフードシステムの特徴の理解
講義内容	1. フードシステムについて 2. わが国のフードシステムとその変化 3. 十勝の経済とフードシステムの特徴 4. 十勝型地産地消とその課題

②十勝の農業

科目名	十勝の農業 ～十勝地方における作物生産の特徴～
講師名	帯広畜産大学 教授 三浦秀穂
講義目標	十勝地方の農業、特に作物生産の特徴を学び、地域の優位性や弱点について理解する。
講義内容	1. 野生植物から作物への進化 2. 世界の主要な作物の生産 3. 北海道、十勝の作物生産

③ 十勝の畜産

科目名	十勝の畜産 ～十勝地方における畜産と牛肉の美味しさについて～
講師名	帯広畜産大学 教授 日高智
講義目標	十勝の畜産業の特徴を把握し、地域の優位性や弱点について理解する。牛肉の特性(肉質や脂質)や牛肉の美味しさについて理解する。
講義内容	1. 日本・北海道と十勝の畜産の現況 2. 肉用牛経営と牛肉生産動向 3. 日本の肉用牛「和牛」 4. 牛肉の特性(肉質)と美味しさの関連 5. 十勝産バイオマスの飼料利用

④ 十勝の農産物加工

科目名	十勝の農産物加工 ～十勝産小果樹の栽培と加工利用～
講師名	帯広畜産大学 准教授 小嶋道之
講義目標	十勝地方の農産物・加工品の特徴を学び、地域の優位性や弱点について理解する。
講義内容	十勝の作物・小果樹類等の加工について解説する。小豆、小果樹の特徴、加工利用、機能性についても講義する。

⑤ 食品安全の最新情報

科目名	食品安全の最新情報
講師名	帯広畜産大学 特任教授 渡辺信吾
講義目標	食品安全の取組みに関する最新情報を理解し、企業が果たすべき役割を考える。
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 食品安全マネジメントの最新情報 2. 食品の安全確保とは 3. 北海道 HACCP の概要解説 <p>最近の食品事故に関する事例をとおして食の安全を確保するために果たすべき企業の役割を考える</p>

⑥ ディスカッションリーダー

科目名	ディスカッションリーダー ～時間内に結果を出すミーティングとは～
講師名	インサイトマネジメント株式会社 代表取締役 坪井真一
講義目標	「理想的な会議」の体験を通じて、効果的なミーティング、ファシリテーションとは何かを理解する。
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 従来のミーティングの課題とは 2. ファシリテーションとは 3. 会議運営に必要なファシリテーションの理論とテクニック 4. 演習 実際にグループに分かれ実践的なディスカッションを実施

⑦ 百貨店バイヤーから見た北海道の食品（講義内容）

科目名	百貨店バイヤーから見た北海道の食品
講師名	株式会社高島屋 食料品催バイヤー 新井将士
講義目標	全国の特徴ある食品やその特徴、背景などの紹介をとおして、北海道の食の魅力を発見し活用する。
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 北海道を外から見た視線で、その特徴、強み、弱みを考える。 2. 首都圏で注目されている、地域、食品、イメージとは！ 3. 首都圏の消費者がイメージする北海道の食品。 4. 自社商品の特徴の見つけ方（良い例・悪い例） 5. 百貨店とは。歴史や業態中身・お客様特徴など。 6. 百貨店の売れ筋商品とは。 7. 百貨店バイヤーの目の付けどころは、ここだ！ 8. これからの売り先は、国内だけでなく海外も。

⑧ デザイン

科目名	デザイン ～デザインで地域をブランディングする～
講師名	株式会社ファームステッド アートディレクター 阿部岳 プロデューサー 長岡淳一
講義目標	地域におけるデザインの重要性・役割を理解する
講義内容	商品をつくる、そこにプロデュースしデザインする作業はとても大事です。うけとる人はまずその部分を目にし、感じ取るからです。自分の生産品を売りたい農業生産者、製品をつくる加工生産者、お店を営む商業者、みんながデザインについて 理解を深め、実践していけるよう、地域におけるデザインが果たす役割、デザインの使い方をわかりやすくお話しします。

⑨ 対人関係論

科目名	対人関係論 ～心理学から考えるビジネスコミュニケーション～
講師名	帯広畜産大学 教授 渡邊芳之
講義目標	コミュニケーションを円滑にするための基本的な技術を学ぶとともに、リーダーとしての役割とコミュニケーションとの関係を考えることで、職場での人間関係を改善し、グループの生産性を向上させる方法について考える。
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. コミュニケーションの技術 コミュニケーションとは／上手に聞く技術／ 会話の始め方、続け方、終わり方 2. リーダーシップとコミュニケーション リーダーの役割／上手なほめ方と叱り方 3. 質疑応答（職場のコミュニケーションで悩みなどあれば）

⑩ フードバレーとかちの取組み

科目名	フードバレーとかちの取組み ～食と農林漁業を柱とした地域産業の振興～
講師名	帯広市産業連携室 主幹 吉田誠
講義目標	フードバレーとかちの政策を理解し関連産業の目指す姿を共有する。
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. フードバレーとかちのコンセプト 2. 十勝が活かすべき優位性 3. これまでの取組み経過 4. フードバレーとかちが目指すもの

【フードバレーとまち人材育成事業】

応募要領

アグリ・フードビジネスコース 入門編

【1. 記入要領】

応募書類は、以下の各項をご参照の上作成してください。

なお、入門編と応用編を併せて応募される方は、応用編の募集が開始（5月上旬）されてから提出してください。入門編と応用編で別々に提出する必要はありません。

(1) 志願書（様式1）

- ・ 自宅電話（携帯）欄は、固定電話・携帯電話の両方の番号を記入してください。

(2) 履歴書（様式2）

- ・ 写真欄には、上半身・無帽・正面向き・背景無地のもので志願前6ヶ月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。（画像データも可能です）

(3) 志望動機（様式3）

- ・ 本プログラムを受講するにあたり、志望動機を記載してください。現在の仕事内容等をふまえ、新たに学びたいこと、もしくはさらに知識を深めたいこと、さらにそれらを生かした将来のビジネスプラン像があればそれぞれをまとめて記載してください。入門編と応用編を合わせて応募される方は、志望動機を分けて記載してください。
- ・ 記載内容は、受講者選考および修了時評価の際の資料とするほか、本事業の方針や講義内容を検討するための貴重な資料として参考にさせていただきますので留意願います。

(4) 推薦書（様式4）

- ・ 推薦者は、志願者が所属する団体で、志願者の雇用主もしくは上司に相当する方とします。
- ・ 推薦者氏名欄に捺印をしてください。
- ・ 推薦者は、推薦理由について記入してください。
- ・ 推薦理由には、推薦者が本事業に期待する教育内容や成果、それらを志願者および推薦者が所属する企業・団体等はどう反映させ、発展させていくか、といった内容を合せて記載してください。
- ・ 志望動機（様式3）同様、受講者選考および修了時評価の際の資料とするほか、本事業の方針や講義内容を検討するための貴重な資料として参考にさせていただきますので留意願います。

※以上を電子媒体で応募する場合は、印影確認のためPDFにして提出して下さい。

【2. 応募書類の提出】

(1) 提出期限：

平成26年5月16日（金）12時00分必着とします。

(2) 提出方法：紙又は電子媒体で下記によりフードバレーとかち人材育成事業事務局に提出してください。

○応募書類は封筒に入れ、「アグリ・フードビジネスコース」と朱書し、持参又は郵送してください。

○電子媒体は、フードバレーとかち人材育成事業事務局にメール添付で提出してください。

(3) 応募書類の請求・提出・問い合わせ先：

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地
国立大学法人帯広畜産大学
地域連携推進センター内
フードバレーとかち人材育成事業事務局（担当：若木）
TEL：0155-49-5773 FAX：0155-49-5775
E-mail：f-jinzai@obihiro.ac.jp

※ご参考：本事業の詳細は下記URLにてご覧いただけます。

<http://www.obihiro.ac.jp/~crcenter/f-jinzai/index.html>

※ 応募いただいた方に対し、受講可否の選考結果を5月20日に、書面（郵送）及び電話でお知らせします。

◎ 個人情報の取扱いについて

- (1) 帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 志願時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講者選抜、受講可否の連絡等の業務を行うためにのみ利用します。

様式 1 (志願書)

平成 26 年度 帯広市・国立大学法人帯広畜産大学
【フードバレーとかち人材育成事業】
アグリ・フードビジネスコース

*事業室記入欄

志 願 書

応募内容	入門編 () 応用編 ()			応募する内容の () に○を付けて下さい。
申込日	平成 年 月 日			
フリガナ				
氏名	男・女			
生年月日	T・S・H 年 月 日生 (歳)			
連絡先	会社名		所属 役職	
	勤務先 住所	〒		
	勤務先 電話		勤務先 FAX	
	E-mail			
	自宅住所	〒		
	電話	自宅		
	携帯			

※自宅・携帯電話両方を記入して下さい。

様式2 (履歴書)

平成26年度 帯広市・国立大学法人帯広畜産大学
【フードバレーとかち人材育成事業】
アグリ・フードビジネスコース

*事業室記入欄

--

履 歴 書

氏 名	写 真
学 歴 (最 終 学 歴)	
年 月	
職 歴 (最 終 学 歴 以 後)	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
資 格 (取 得 年 月 日)	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	
年 月	

※欄が不足する場合は、別紙 (A4用紙) に記載してください。

様式3 (志望動機)

平成26年度 帯広市・国立大学法人帯広畜産大学
【フードバレーとかち人材育成事業】
アグリ・フードビジネスコース

*事業室記入欄

志 望 動 機

氏 名	
-----	--

志望動機 (記入要領を参照)

*入門編と応用編を合わせて応募される方は、志望動機を分けて記載してください (入門編志望動機、
応用編志望動機)。

様式4 (推薦書)

平成26年度 帯広市・国立大学法人帯広畜産大学
【フードバレーとかち人材育成事業】
アグリ・フードビジネスコース

*事業室記入欄

推 薦 書

志願者氏名	
推薦者氏名	所属 住所・電話 役職 印

推薦理由 (記入要領を参照)

--

平成26年度 帯広市・国立大学法人帯広畜産大学

【フードバレーとかち人材育成事業】

受講生募集要項

**アグリ・フードビジネスコース
応用編**

帯広市と帯広畜産大学は、平成19年度より5年間実施した「十勝アグリバイオ産業創出のための人材育成事業」で培った実績を踏まえ、平成24年度より「フードバレーとかち人材育成事業」を実施しております。

この事業は、食・農畜産業分野での新製品開発や販路拡大などについての実践的な講義や実習を行い、地域の経済発展に寄与しリーダーシップを発揮する人材の育成を目的としております。

本コース応用編では、アグリ・フードビジネスの立案に向けてプロジェクトのマネジメントやビジネスプランの構築に必要な知識の習得を目指して、以下のような内容で実施します。

1. 募集人員

10名程度

2. 研修内容

アグリ・フードビジネスに関する新事業の展開に必要となる、プロジェクトのマネジメント、商品開発の考え方、マーケティングリサーチ、ビジネスプランの構築の講義および実習を行う他、競争的資金の情報提供を行います。

3. 応募資格： 次の両方に該当する方

- (1) 農畜産業・食品加工・バイオマス等の新事業展開やプロジェクトの立案等に興味のある方
- (2) 所属長等の推薦を得られる方

4. 受講料： 30,000円

入門編も受講される場合は、受講料30,000円から10,000円割引されます。

また、帯広市内在住又は帯広市内の事業所に勤務する方は受講料が半額となります。

*支払方法については、選考結果通知の際にお知らせします。

	入門編	応用編	入門編・応用編
帯広市内在住 又は市内勤務	10,000円	15,000円	20,000円
帯広市外在住 又は市外企業	20,000円	30,000円	40,000円

5. 受講期間： 平成26年7月14日（月）～8月2日（土）

スケジュール詳細は別紙1のとおりです。

6. 応募書類： 応募に必要な書類は以下のとおりです。

- (1) 様式1「志願書」
- (2) 様式2「履歴書」
- (3) 様式3「志望動機」
- (4) 様式4「推薦書」

※ 提出された応募書類は、返還しませんので、ご了承ください。入門編と応用編を受講いただく方は、各様式とも共通とします。入門編・応用編の内容について併せて作成してください。

様式は、フードバレーとかち人材育成事業事務局（「9. 請求・提出・問い合わせ先」に記載）にご連絡いただくか、本事業のホームページから取得し、紙又は電子媒体で提出してください。

7. 募集期間： 平成26年5月1日（木）～7月3日（木）12：00必着

- 応募書類は封筒に入れ、「アグリ・フードビジネスコース」と朱書きし、帯広畜産大学地域連携推進センター内フードバレーとかち人材育成事業事務局に持参又は郵送してください。
- 電子媒体は、フードバレーとかち人材育成事業事務局にメール添付で提出してください。

8. 選考方法： 応募書類にて審査を行います。

9. 応募書類の請求・提出・問い合わせ先：

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地
国立大学法人帯広畜産大学
地域連携推進センター内
フードバレーとかち人材育成事業事務局（担当：若木、寺崎）
TEL：0155-49-5773 FAX：0155-49-5775
E-mail：f-jinzai@obihiro.ac.jp

※ご参考：本事業の詳細は下記のホームページにてご覧いただけます。
(<http://www.obihiro.ac.jp/~crcenter/f-jinzai/index.html>)

10. 選考結果： 7月7日（月）に、書面（郵送）及び電話でお知らせします。

11. 受講場所： 帯広畜産大学他

12. 講義内容： 別紙1及び別紙2のとおりです。

13. 修了認定： 講義を8割以上出席し、小テスト等の評価により合格した方、または講師が合格に相当すると判断した方には修了証書をお渡しします。

◎ 個人情報の取扱いについて

- (1) 帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 志願時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講者選抜、受講可否の連絡等の業務を行うためにのみ利用します。

別紙1

スケジュール詳細

1. 講義科目

	科目名 (講義時間)	講師
1	アントレプレナーシップ (3時間)	小樽商科大学 教授 瀬戸篤
2	経営戦略 (6時間)	小樽商科大学 教授 玉井健一
3	マーケティング (6時間)	小樽商科大学 教授 近藤公彦
4	マーケティングリサーチ (3時間)	帯広畜産大学 教授 仙北谷康
5	マーケットインの商品開発 (3時間)	エバラ食品工業株式会社 研究本部テクニカルセンター マネージャー 岩田一敏
6	中小企業の支援制度について(2時間)	(独) 中小企業基盤整備機構北海道本部 連携推進課 課長代理 岩本直 (公財) 北海道中小企業総合支援センター 十勝支部 十勝支部長 紅葉昭彦
7	プロジェクトマネジメント (6時間)	インサイトマネジメント株式会社
8	ビジネスプラン実習 (6時間)	代表取締役 坪井真一

2. 開講式及びオリエンテーション

7/14 (月)	12:30~ 13:00	受付
	13:00~ 13:20	開講式
	13:20~ 13:30	オリエンテーション

3. 講義実施予定日

月	日	曜日		
7	14	月		13:30~16:30 アントレプレナーシップ (瀬戸)
7	22	火	9:30~12:30 経営戦略 (玉井)	13:30~16:30 経営戦略 (玉井)
7	23	水		13:30~16:30 マーケティング (近藤)
7	24	木	9:30~12:30 マーケティング (近藤)	
7	25	金	9:30~12:30 マーケティングリサーチ (仙北谷)	13:30~16:30 マーケットインの商品開発 (岩田)
7	26	土	9:00~12:00 プロジェクトマネジメント (坪井)	13:00~16:00 プロジェクトマネジメント (坪井)
7	28	月		13:30~15:30 中小企業の支援制度について (岩本、紅葉)
8	2	土	9:00~12:00 ビジネスプラン実習 (坪井)	13:00~16:00 ビジネスプラン実習 (坪井)

修了式は、入門編と合同で8月に実施します。

別紙2

フードバレーとかち人材育成事業

○アグリ・フードビジネスコース 応用編 講義内容（シラバス）

① アントレプレナーシップ

科目名	アントレプレナーシップ ～企業家精神とリーダーの役割～
講師名	小樽商科大学 教授 瀬戸篤
講義目標	経済発展、イノベーションを生み出す企業家の役割について事例をもとに学び、アントレプレナーシップ(企業家精神)あふれるリーダーシップの重要性を理解する。
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 企業家精神の誕生 2. 企業家精神が偉大な企業を創造する 3. 企業家精神が会社を救う 4. 企業家精神の条件

② 経営戦略

科目名	経営戦略 ～競争優位の獲得に向けた事業戦略分析～
講師名	小樽商科大学 教授 玉井健一
講義目標	経営戦略の策定は、企業競争力を発揮するために経営者が考えなければならない重要な仕事である。本講義では「事業戦略」に焦点をおいて、市場競争に影響する環境要因と経営資源の分析方法、および競争力を獲得するための具体的な事業戦略のタイプを理解する基本ツールを学ぶ。なお、講義で学んだツールを使い特定企業のケース分析を行う。
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 事業戦略の位置づけ 2. 環境要因分析 マクロ環境分析、競争の5要因分析 3. 競争戦略の内容 コストリーダーシップ、差別化、集中戦略 4. 経営資源の分析 バリューチェーン分析、VRIO 分析 5. 事業戦略のケース分析 グループ・ディスカッション、分析結果のプレゼンテーション

③ マーケティング

科目名	マーケティング ～価値創造の市場戦略～
講師名	小樽商科大学 教授 近藤公彦
講義目標	マーケティングの役割と課題、マーケティング戦略策定のプロセスおよび4つの基本戦略（製品戦略、価格戦略、プロモーション戦略および流通チャネル戦略）を中心に、市場戦略としてのマーケティング理論を習得する。
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. マーケティングの役割と課題 マーケティングの発想、マーケティングとは何か、マーケティングの課題 2. マーケティング戦略策定のプロセス SWOT分析、ターゲティングとポジショニング 3. マーケティングの基本戦略 製品戦略、価格戦略、プロモーション戦略、流通チャネル戦略 4. 受講者の事例報告と全体ディスカッション

④ マーケティングリサーチ

科目名	マーケティングリサーチ ～市場調査に基づく商品企画の考え方～
講師名	帯広畜産大学 教授 仙北谷康
講義目標	ターゲットとして想定される消費者に対するアンケートデータを用いて、マーケティングにおける意思決定のための判断材料となる資料が作成できるようになること。
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. マーケティングリサーチの基本的枠組みの理解 2. グループインタビューによる要因抽出 3. アンケート調査の実際 4. アンケートデータの解析

⑤ マーケットインの商品開発

科目名	マーケットインの商品開発 ～エバラ食品の事例をとおして～
講師名	エバラ食品工業株式会社 研究本部テクニカルセンター マネージャー 岩田一敏
講義目標	エバラ食品における商品開発事例を通してその手法を紹介するとともに、安心安全な商品設計のポイントを解説し最適な商品開発の在り方を考える。
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. エバラ食品における商品開発の考え方 プロダクトアウトとマーケットイン C/Pバランス理論、他 2. エバラ食品における商品開発事例(予定:「プチッと鍋」を事例に) 市場探索・調査～商品企画～プロダクト開発～商品化～ までのスケジュールと開発ステップについて解説 3. 安心安全な商品設計 新商品開発フローと品質設計のポイント “EQAS”による安全性検証プロセス 賞味期間設定の考え方

⑥ プロジェクトマネジメント

科目名	プロジェクトマネジメント ～効率的な企業間連携のために～
講師名	インサイトマネジメント株式会社 代表取締役 坪井真一
講義目標	本講義を通じて、複数の当事者間で設定した目標に対して、ヒト、モノ、お金、スケジュールを効果的に調整し成功に導くための管理手法の概念を理解する。
講義内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. プロジェクトマネジメントの概要 プロジェクトマネジメントの重要性、プロジェクトプランニング、プロジェクトスケジューリング、プロジェクトコントロール 2. プロジェクトマネジメント手法 プロジェクトマネジメントで使用ツールを提示し、その使用法を解説する。 3. 研修生によるプロジェクトマネジメント演習

⑦ 中小企業の支援制度について

科目名	中小企業の支援制度について
講師名	(独)中小企業基盤整備機構 北海道本部 連携支援課 課長代理 岩本直 (公財)北海道中小企業総合支援センター 十勝支部 十勝支部長 紅葉昭彦
講義目標	各支援機関の中小企業支援制度を理解し、制度を活用した事業展開を目指す。
講義内容	1. ものづくりの支援 2. 販路開拓支援等 3. 各機関からの制度説明 4. 事例紹介

⑧ ビジネスプラン実習

科目名	ビジネスプラン実習 ～想いをかたちにする～
講師名	インサイトマネジメント株式会社 代表取締役 坪井真一
講義目標	本講座で学んだ経営管理手法(事業戦略、マーケティング、財務、会計等)を統合し、有効なビジネスモデルを構築した上で事業計画が作成でき、評価、修正ができるようになる。
講義内容	1. ビジネスプランの意義・構成 目的にあったプラン作成 2. ビジョンの構築 目指す方向を明確にする 3. 事業戦略 強みに合った事業戦略の策定 4. 事業シミュレーション 事業の採算性を事前に評価する

【フードバレーとかち人材育成事業】

応募要領

アグリ・フードビジネスコース
応用編

【1. 記入要領】

応募書類は、以下の各項をご参照の上作成してください。

なお、入門編と応用編を併せて応募される方は、共通する内容でご記入下さい。入門編と応用編で別々に提出する必要はありません。

(1) 志願書（様式1）

- ・自宅電話（携帯）欄は、固定電話・携帯電話の両方の番号を記入してください。

(2) 履歴書（様式2）

- ・写真欄には、上半身・無帽・正面向き・背景無地のもので志願前6ヶ月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。（画像データも可能です）

(3) 志望動機（様式3）

- ・本プログラムを受講するにあたり、志望動機を記載してください。現在の仕事内容等をふまえ、新たに学びたいこと、もしくはさらに知識を深めたいこと、さらにそれらを生かした将来のビジネスマン像があればそれぞれをまとめて記載してください。入門編と応用編を合わせて応募される方は、志望動機を分けて記載してください。
- ・記載内容は、受講者選考および修了時評価の際の資料とするほか、本事業の方針や講義内容を検討するための貴重な資料として参考にさせていただきますので留意願います。

(4) 推薦書（様式4）

- ・推薦者は、志願者が所属する団体で、志願者の雇用主もしくは上司に相当する方とします。
- ・推薦者氏名欄に捺印をしてください。
- ・推薦者は、推薦理由について記入してください。
- ・推薦理由には、推薦者が本事業に期待する教育内容や成果、それらを志願者および推薦者が所属する企業・団体等にどう反映させ、発展させていくか、といった内容を合せて記載してください。
- ・志望動機（様式3）同様、受講者選考および修了時評価の際の資料とするほか、本事業の方針や講義内容を検討するための貴重な資料として参考にさせていただきますので留意願います。

※以上を電子媒体で応募する場合は、印影確認のためPDFにして提出して下さい。

【2. 応募書類の提出】

(1) 提出期限：

平成26年7月3日（木）12時00分必着とします。

(2) 提出方法：紙又は電子媒体で下記によりフードバレーとかち人材育成事業事務局に提出してください。

○応募書類は封筒に入れ、「アグリ・フードビジネスコース」と朱書し、持参又は郵送してください。

○電子媒体は、フードバレーとかち人材育成事業事務局にメール添付で提出してください。

(3) 応募書類の請求・提出・問い合わせ先：

〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地
国立大学法人帯広畜産大学
地域連携推進センター内
フードバレーとかち人材育成事業事務局（担当：若木、寺崎）
TEL：0155-49-5773 FAX：0155-49-5775
E-mail：f-jinzai@obihiro.ac.jp

※ご参考：本事業の詳細は下記URLにてご覧いただけます。

<http://www.obihiro.ac.jp/~crcenter/f-jinzai/index.html>

※ 応募いただいた方に対し、受講可否の選考結果を7月7日に書面（郵送）及び電話でお知らせ致します。

◎ 個人情報の取扱いについて

- (1) 帯広畜産大学が保有する個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」等の法令を遵守するとともに、「国立大学法人帯広畜産大学保有個人情報管理規程」に基づき、保護に万全を期しています。
- (2) 志願時にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、受講者選抜、受講可否の連絡等の業務を行うためにのみ利用します。

様式1 (志願書)

平成26年度 帯広市・国立大学法人帯広畜産大学

【フードバレーとたち人材育成事業】

アグリ・フードビジネスコース

志 願 書

応募内容	入門編 () 応用編 () 応募する内容の () に○を付けて下さい。		
申込日	平成 年 月 日		
フリガナ			
氏名	男・女		
生年月日	T・S・H 年 月 日生 (歳)		
連絡先	会社名		所属 役職
	勤務先 住所	〒	
	勤務先 電話		勤務先 FAX
	E-mail		
	自宅住所	〒	
	電話	自宅	
携帯			

※自宅・携帯電話両方を記入して下さい。

様式2 (履歴書)

平成26年度 帯広市・国立大学法人帯広畜産大学

【フードバレーとまち人材育成事業】

アグリ・フードビジネスコース

履 歴 書

氏 名		写 真
学 歴 (最 終 学 歴)		
年 月		
職 歴 (最 終 学 歴 以 後)		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
資 格 (取 得 年 月 日)		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		
年 月		

※欄が不足する場合は、別紙 (A4用紙) に記載してください。

様式3 (志望動機)

平成26年度 帯広市・国立大学法人帯広畜産大学

【フードバレーとまち人材育成事業】

アグリ・フードビジネスコース

志 望 動 機

氏 名	
-----	--

志望動機 (記入要領を参照)

*入門編と応用編を合わせて応募される方は、志望動機を分けて記載してください (入門編志望動機、応用編志望動機)。

様式4 (推薦書)

平成26年度 帯広市・国立大学法人帯広畜産大学

【フードバレーとかち人材育成事業】

アグリ・フードビジネスコース

推 薦 書

志願者氏名			
推薦者氏名	所属 住所・電話	役職	印

推薦理由 (記入要領を参照)
